



公共図書館は、

地域で発生する様々な資料および地域に関する様々な資料を収集・整理・提供する「地域資料サービス」を行っています。近年では、インターネットを介した資料収集やデジタルアーカイブなど、情報技術を取り入れた新たな試みも行われるようになり、図書館界の内外から注目を集めています。しかしながら、こうした新たな試みは、やもすれば情報技術の活用だけが注目され、これまでの地域資料サービスの実践につらなる文脈にどのように位置づけられるのかといった点では十分に議論されているとはいえません。

特別シンポジウムでは、開館当時から優れた実践を積み重ねてきた日野市立図書館を取り上げ、その実践を踏まえて地域資料サービスのこれまでの「成果」と「これから」を考えます。

9/30 土曜日

13:30 ▶ 16:00

開場13:00

場所

@実践女子大学  
渋谷キャンパス  
403教室

東京都渋谷区東1-1-49  
(JR渋谷駅 徒歩10分)

参加無料

定員

226名  
(要申込・先着順)

お申込

お申込は  
コチラから



<https://forms.gle/y3c3CRW2fGwAoPzE6>

申込期限：9/23

公共  
図書館

の

地域資料  
サービス

主催 実践女子大学・短期大学部図書館学課程

Jissen Librarianshipの会特別シンポジウム

～日野市立図書館の実践から考える～



根本 彰氏 東京大学名誉教授

蛭田 廣一氏 元小平市中央図書館長、元日本図書館協会専務理事、元本学非常勤講師

清水 ゆかり氏 日野市立図書館前館長、現市政図書室担当

お問い合わせ

実践女子大学 図書館学課程研究室

〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49 電子メール lis@jissen.ac.jp